

昭和天皇陛下お手播きの唐松

この唐松は、当時、摂政の宮であった昭和天皇陛下が、大正十一年七月八日から二十三日まで、北海道行啓のため来道され、これを記念として札幌真駒内種畜場にて、自らの手で唐松の種を播かれました。大正十四年五月、「唐松のように、すくすくと育ってほしい」との願いを込めて全道の小学校に苗木を五本ずつ配られました。現存する昭和天皇陛下お手播きの唐松は数が少なく、上幌延小学校跡地にある唐松は五本とも存在する貴重な歴史的樹木であることから、ここに記念板を設置いたします。

平成二十七年十一月

幌延町長 野々村 仁